

# 保育園をたずねて

庄瀬

## 秋の運動会

10月12日に行われた運動会——この日のために、子どもたちは一生懸命に練習したそうなの……。

しかしながら、本番は勝手がちがう様子。親の目、カメラのレンズを意識してか、現代っ子も少々上がり気味——。

実力を発揮できずに残念がる子どももチラホラ。笑いにつつまれた楽しい秋の一日でした。



稲刈りも終わり、我が家は今年秋野菜の収穫を迎えています。高卒後四年。卒業当時、あのころの新技術だった『きゅうりの断根つき木育苗』をやって、何度も失敗していたことを思い



山田晴雄さん (鷹ノ木新田・21歳)

出します。去年から何となく水稲が私の担当になって、少しは稲のことがわかるようになってきました。技術者として稲の生育具合をみつめ、経営者として作業の段

取りを組み、労働者となって作業をする。常に仕事の先の先を考えたがやらなければ、稲はスムーズに育ってはいけません。ひとつの作物を、収穫までにもっていくことのむづかしさを痛感しています。それだけにまた、やりがいもあります。収穫は、私たち農家にとって深い喜びであり、期待に胸をおどらせるときでもあります。今年などは稲刈りを間近にして、仕事もないのに、何度も稲のでき具合を見に行ったものでした。

そのころ畑作もふくめて、自分なりの経営ができるようにしたいと思っています。

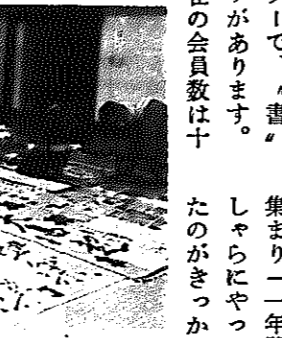
## 早く自分の経営を

# 農家のあどろり

⑦

取りを組み、労働者となって作業をする。常に仕事の先の先を考えたがやらなければ、稲はスムーズに育ってはいけません。ひとつの作物を、収穫までにもっていくことのむづかしさを痛感しています。それだけにまた、やりがいもあります。収穫は、私たち農家にとって深い喜びであり、期待に胸をおどらせるときでもあります。今年などは稲刈りを間近にして、仕事もないのに、何度も稲のでき具合を見に行ったものでした。

文化の秋——毎週水曜日夜七時から教育センターで、『書』を楽しむグループがあります。墨友会で、現在の会員数は十五人(男五人、女十人)。中には五十歳代の男の人——若い人たちから「おとうさん」の愛称で親しまれています。



今年も教育センターで開かれる文化祭には、もちろん全員が出席今、その準備に大わらわです。

文化の秋——毎週水曜日夜七時から教育センターで、『書』を楽しむグループがあります。墨友会で、現在の会員数は十五人(男五人、女十人)。中には五十歳代の男の人——若い人たちから「おとうさん」の愛称で親しまれています。

## グループ登場

## 芸術の秋に『書』

墨友会

に四、五人のやる気のある人が集まり「一年間を通して、がむしゃらにやってみよう」と始めたのがきっかけです。

字がうまくなりたいと思って、今年春から入ったんです。大きいものを書くので結構おもしろいです。今は、水曜日の来るのが待ち遠しくらい……。

## 【会員の声】



佐藤三枝さん

字がうまくなりたいと思って、今年春から入ったんです。大きいものを書くので結構おもしろいです。今は、水曜日の来るのが待ち遠しくらい……。



十月一、二日の両日。上越市営球場で行われた第五回BSN旗争奪県早起き野球選手権大会

## 根岸ク早起き野球で県一 三試合すべて完封勝ち

この大会は、上・中・下越、新潟の四ブロックからそれぞれ選抜された二チームが出場して争われたもの……。同クラブの発足は四十一年。市内では最強チーム。メンバーの職業も、会社員、運転手、農業とバラエティーで、これまでも県大会に出場するなど、その活躍はめざましいものがあります。〈戦績〉一回戦トヨタカローラ新潟(一対〇)準決勝見附月見クラブ(一対〇)決勝木場建築(三対〇)

## 健康世帯を表彰



十月は国民健康保険事業の強調月間。その一環として、十月十七日厚生会館で、健康優良世帯の表彰式が行われ、石ロテイさん(新潟)ほか三十世帯の人たちが市から表彰されました。これは、過去二年間、医療機関にかからず保険税を完納している世帯が対象です。

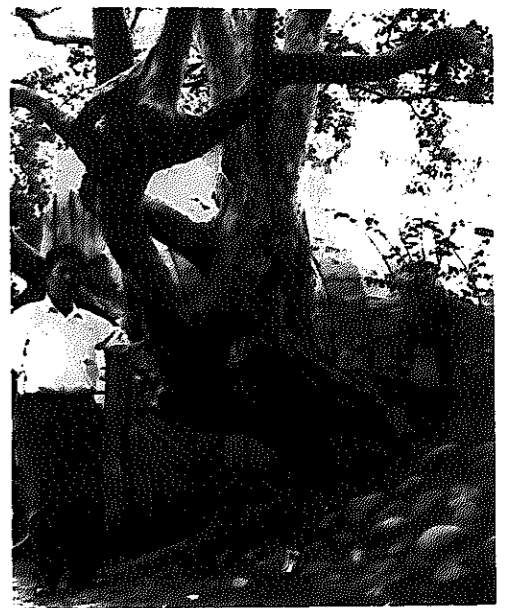
## 大きな大きな さるすべり

上大郷の吉田角二さん宅に、大きなさるすべりの木があります。

吉田さんの話では「大郷の堤防ができる前からあったと聞いているから、100年はたっているんじゃないかな——。子どものころ、枝と枝の間をくぐってよく遊んだもんですヨ」。

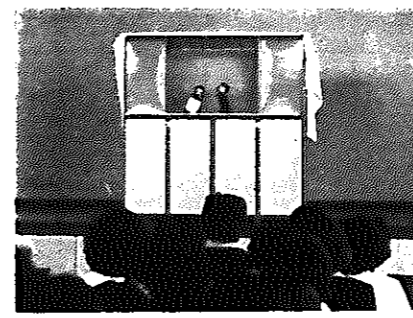
この辺に、こんな大きなものがあるのは珍しいとのこと。みそはぎ科の落葉高木、幹はなめらかでつやがあり、夏から秋にかけて紅色または白色の小花が咲く。

さるもすべって登れないという意からの名だそうです。



## 保母さんの交通安全講習会

交通事故——いっこうに減る傾向が見えませんが、こんなことから、幼い子どもたちをあずかる保母さんたちを中心に、交通安全講習会が十月十四日、教育センターで行われました。当日は、約七十人の保母さんやお母さんが出席しました。



## 市民文化

川柳

白根川柳文芸会

豊作に赤字を積んでゆく倉庫 岡村清

二十五を過ぎて女として焦り 吉川末吉

禁煙の誓いライター投げ捨てる 保科盛広

引き下げも貯金がないからへい 広野仁一

海舌でエンマに説教する和尚 今井七郎

農業は大本なりを要する御代 大井義雄

命日に日頃の無沙汰仕る数珠 後藤まさの

晩年は良い相気長のことを言う 高橋祐四雄

また運に見放されたかコップ酒 吉川彰

棟梁の曲尺活き活きと墨を打ち 中村尚治

延長になってナイター灯が入り 長井徳市

俳句 高原のみじに光る露ひとつ 渡辺勲